

平成30年度 事業報告

メインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

(公社) 仙台市老人クラブ連合会は、平成30年度においても(公財) 全国老人クラブ連合会の掲げるメインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」と「健康・友愛・奉仕」の三大目標を掲げ活動し、「高齢者の健康づくり」「介護予防」「生きがいづくり」事業にも力を入れて取り組んできた。

平成30年度は、仙老連会員増強5ヶ年計画の最終年度であるが、会員の減少傾向は続き、ついに1万人を下回る状況となった。これを受け、今後の会員減少を防ぐため、計画の延長を企画し、年度当初から、「新会員増強計画(平成30年度～平成32年度)」を検討し、策定した。特に、正副会長会では昨年度より会員増強の取組みについて議論をしてきており、各事業専門部においても会員減少を防ぐ方法についても議論を重ね、会員の減少による事業の見直し等も検討してきた。

事業の見直しの一つとして、会員からのアンケートのご意見を踏まえて、正副会長会で議論し、保健体育部で検討を重ね、今年度より体育祭の開始時間等、内容を変更した。

総務部会では、今後の会員増強計画のため、これまでの会員増強対策第1弾、第2弾の内容を検証するとともに、平成30年度単老実態調査の集計結果に基づき、今後の対応策等を議論し、「新会員増強計画(案)(平成30年度～平成32年度)」の策定を行った。

企画広報部会は、機関誌「伊達なクラブ仙台ー仙老連ー」による老人クラブの活動の一層の情報発信に力を入れて取り組んだ。また、機関誌発行の7月、1月を除く奇数月には情報紙「伊達なクラブ仙台」を発行し、全会員への情報提供にも努めてきた。

教養文化部会は、新しく老人クラブの会長になられた方を対象に、単老活動の活性化を図る目的もあり、単老新任会長研修を実施した。また、いつまでもイキイキと自分らしい生活をおくるために、「生涯健康脳」と題して東北大学加齢医学研究所の瀧教授をお迎えして、「脳の健康づくり研修会」を実施した。

保健体育部会は、今年度も高齢者の体力づくり、健康づくりに楽しく取り組めるように、「グラウンド・ゴルフ大会」・「ゲートボール・ペタンク大会」・「体育祭」を開催した。特に、体育祭については、昨年の運営に対するご意見等を踏まえて、開始時間等を遅くするほか、種目も、多くの方に集っていただき、楽しんでいただけるように、内容を変更して実施した。

今後も検討して、より良い運営に改善する。

女性部会は、老人クラブの会員の過半数を超える方が女性との状況を考え、今後の老人クラブはどのようなあり方が望ましいのかを模索し、9月には、(公財)全国老人クラブ連合会の事務局長 谷野 香氏をお迎えして、「女性会員の輝く老人クラブとは」と題して女性部企画研修会を実施した。また、第21回仙台市高齢者生きがい健康祭では、各区より作品を出展し、展示販売を行うとともに、恒例の野菜市も行い、完売するなど祭りを盛り上げ、さらに、ステージプログラムでも一役を担い、華やかにステージを飾ることができた。

若手部においては、これからの老人クラブを支えていく人材を育成するために、一体となって、「若手リーダー養成講座」を開催。また、11月の仙台市介護予防月間に行う「元気力アップフェスティバル」では、老人クラブの日常活動等の写真パネルを作成し展示するほか、輪投げやグラウンド・ゴルフを展示会場に用意し、来館された方に実演し、講習しながら共に競技をし、老人クラブの存在、目的、活動等をアピールし、会員増強に努めた。

今年度から新たなモデル地区の選定を行った高齢者相互支援推進・啓発事業は、高齢者相互支援活動委員会において、高齢者相互支援活動を行うモデル地区の支援に努めた。

一昨年決定した愛称「伊達なクラブ仙台」については、各区老連での使用など浸透しつつあり、あらゆる機会を通して会員を超えてより広く認知されるように、さらにPRに努めている。

当会、伊達なクラブ仙台的事業を引き続き魅力的なものとする努力はもちろんのこと、公益社団法人としての目的でもある会員以外の方にも当会の存在を大いに知り、老人クラブの活動に注目して、活動に参加していただけるような事業展開を求められているので、これからも引き続き企画運営に工夫を重ねて行くこととしている。

事業実施状況

1 会議

- | | |
|----------------------|--|
| (1) 通常総会 1回 | 仙台市シルバーセンター1F 交流ホール |
| ①平成30年5月22日 | ・平成29年度事業報告並びに収入支出決算について
・平成30年度事業計画並びに収入支出予算について
・役員候補選について |
| (2) 理事会 | |
| ①平成30年5月8日
(第1回) | ・仙台市老人クラブ連合会会長表彰について
・通常総会提出議題について
・名誉会員について |
| ②平成30年5月22日
(第2回) | ・(公社)仙台市老人クラブ連合会役員候補選について
・(公社)仙台市老人クラブ連合会常務理事候補選について
・事業専門部会の部員候補選他 |
| ③平成30年6月26日
(第3回) | ・会員増強の取組みの推進について
・事業専門部員候補選 |

- ④平成 30 年 9 月 6 日 (第 4 回) ・新会員増強計画について
- ⑤平成 30 年 12 月 20 日 (第 5 回) ・平成 31 年度事業計画(案)について
・平成 31 年度予算(案)について
・救援拠金特別事業会計について
・事業専門部員の承認について
- ⑥平成 31 年 3 月 15 日 (第 6 回) ・第 5 回理事会における議事について
・若手部長の正副会長会への参加について
・高齢者相互支援活動委員会の規程の変更について
・平成 30 年度事業報告(案)
・平成 31 年度事業計画(案)
・平成 31 年度収支予算(案)
・救援拠金使途計画について
・平成 31 年度通常総会の開催について

(3) 監事会

平成 30 年 4 月 27 日 ・平成 29 年度事業並びに収入支出決算監査について

(4) 正副会長会 12 回 (毎月)

(5) 専門部会

総務部 5 回、企画広報部 3 回、教養文化部 4 回、保健体育部 3 回、女性部 4 回、若手部 8 回

(6) 高齢者相互支援活動委員会 2 回

(7) 全国老人クラブ連合会関係

- ①都道府県・指定都市老連会長会議 (2/4~5)
- ②都道府県・指定都市老連事務局長会議 (第 1 回 7/2~3、第 2 回 2/4~5)
- ③北海道・東北ブロック老人クラブ連合会会長・事務局長会議 (4/12~13、青森県)
- ④全老連女性委員会議 (5/15、10/11~12)
- ⑤全老連評議員会議 (6/19、3/12)

2 研修会

(1) 仙老連研修

①若手部人材養成研修 (全 9 回)

6 月 25 日~8 月 3 日

若手リーダー養成講座 第 6 期生

仙台市福祉プラザ 受講生 23 名

・説明・講話

「養成講座開催の趣旨、日程、会場等」

仙老連若手部部長 佐々木 忠雄

「老人クラブの沿革、養成講座開設の経緯」

仙老連事務局長 二本柳 基

・研 修

「行事を企画するために (心と身体の開放)」

仙台市レクリエーション協会 加藤 淳子氏

・パソコン教室 (6 月 28 日~8 月 3 日 全 6 回) の実施

ワード・エクセル (案内文、会計簿作成等)

講師: 福沢パソコン同好会

②新任単位老人クラブ会長研修会

6 月 21 日

仙台市シルバーセンター7 階 第 1 研修室 参加者 39 名

・基調説明 「(公社) 仙台市老人クラブ連合会の組織と助成金等について」

仙老連事務局長 二本柳 基

・基調説明 「熱中症対策について」

大塚製薬工場 大塚 賢人氏

・基調講演 「地域包括ケアシステムと老人クラブ」
仙台市高齢企画課課長 伊勢 文葉氏

・活動報告 「単老の運営と活動の紹介」
太白区西多賀地区鉤取睦会会長 佐々木 忠雄

③女性部企画研修会 9月14日
仙台市シルバーセンター1階 交流ホール 参加者 306名

・講演 「女性会員の輝く老人クラブとは」
講師：(公財) 全国老人クラブ連合会事務局長 谷野 香氏

④若手部企画研修会 11月13日
仙台市シルバーセンター1階 交流ホール 参加者 245名

・講演 「顔は心の鏡 老け顔 不幸顔 幸せ顔」
講師：知的感動達人伝道者 ヒューマンカウンセラー 佐藤 忠男氏

⑤地区老連役員研修会及び単位クラブ役員研修会 各区老連にて開催

(2) 全老連関係研修

①新任事務局長・職員研修会 4月27日
全社協会議室

②東北ブロック老人クラブリーダー研修会 7月12日～13日
山形県天童市
参加者 28名

・基調説明 「老人クラブの現状と課題・活動安全対策」
(公財) 全国老人クラブ連合会事務局長 谷野 香

・講演 「映画が 歌謡曲が スターが輝いていた時代“昭和”」
講師 シネマパーソナリティ 荒井 幸博氏

・活動発表 「最高の住環境・八戸ニュータウン」
青森県老連・八戸市老連会長 松崎 徹

「みんな、挙って・づくり活動」
秋田県大仙市老連・大曲老ク喜楽会会長 富樫 俊悦

「市行政事業『4つ葉のクローバー事業』とともに」
山形県東根市老連会長 横尾 量助

・グループ討議 テーマ みんなで知恵を出し合い、実践しましょう
「仲間づくりをどう進めるか わがクラブの会員増強運動」

③北海道・東北ブロック老人クラブ連合会活動推進員事務担当者会議 8月23日～24日
宮城県仙台市

④全国健康福祉祭とやま大会 11月3日～5日
ねんりんピック富山2018 富山県内 仙台市選手団 150名

・ゲートボール、テニス、地域文化伝承館視察 (仙老連4名)

⑤第47回 全国老人クラブ大会 12月4日～5日
沖縄コンベンションセンター

カルチャーリゾートフェストーネ 参加者 1,600名
(仙老連6名)

1. 活動交流部会

2. 式典

式典においては、下記の皆様が、これまでの活動の功績が認められ、全国老人クラブ連合会会長表彰を受賞されました。

- | | | |
|---------------|------|----------|
| ・育成功労表彰 | 太白区 | 坂田 祐子 |
| ・育成功労表彰 | 泉区 | 久道 悦子 |
| ・優良老人クラブ表彰 | 宮城野区 | 大堤芙蓉会 |
| ・優良老人クラブ連合会表彰 | 青葉区 | 宮城東部地区老連 |

⑥女性リーダーセミナー

10月11日～12日

全社協会議室

参加者 女性部副部長 野田 幸代

- ・基調報告 「老人クラブ組織の発展に向けて」
- ・事例発表 「役割を担った女性の活動～会員増強運動、高齢消費者被害防止等」
- ・ワークショップ 「地域高齢者の仲間づくりを通じて考える地域の防災」
- ・講話 「高齢者の消費者被害防止に向けた老人クラブへの期待」
- ・全体会

⑦第24回「在宅福祉を支える友愛活動」セミナー

1月30日～31日

全社協会議室

参加者 泉区東一地区 佐藤 範昭

- ・行政報告 厚生労働省老健局振興課
- ・基調報告 全国老人クラブ連合連会
- ・分散会 意見及び情報交換
- ・活動報告 「老人クラブが取り組んでいる地域支え合い」
- ・講演 「地域支え合いにおける老人クラブへの期待」
神奈川県立保健福祉大学校顧問 山崎 美貴子氏
- ・全体会

⑧第16期「健康づくり中央セミナー」

2月20日～22日

中央福祉学院「ロフォス湘南」(全社協研修施設)

参加者 宮城野区シルバースポーツ推進員 高橋 吉弘

- ・基礎講座 健康づくり・介護予防活動と老人クラブ
- ・専門講座 運動(講義・実技)、栄養、医療、歯・口腔、薬、事故防止、食品表示
- ・グループ学習 クラブで取り組む健康づくり、介護予防(情報交換)
- ・まとめ

3 広報活動の推進

(1)機関誌「伊達なクラブ仙台ー仙老連ー」の発行

企画広報部員による編集会議を開き、全クラブ会員へ配布(年2回)

区役所、市民センター等に配置、全老連を通して各県老連、政令市老連へ配布

①第116号 平成30年7月25日 発行(11,000部) 16ページ

仙老連会長あいさつ

通常総会・理事会・平成30年度事業計画

各区老連事業計画

仙老連活動情報発信、グランパ・グランマってものしり!、

「いつまでも元気で生活するために」、生涯健康脳

②第117号 平成31年1月28日 発行(11,000部) 16ページ

仙老連会長・仙台市長年頭あいさつ

第47回全国老人クラブ大会

仙老連活動情報発信、「いつまでも元気で生活するために」、

グランパ・グランマってものしり!、健康麻雀のすすめ

- (2) 情報紙「伊達なクラブ仙台」の発行
企画広報部員による編集会議を開き、単位クラブへ配布（年4回）

4 会員加入増強対策の取り組み

- (1) 仙老連会員増強対策の推進
(2) 新規会員・クラブ獲得に対する表彰と奨励金の交付
- | | | | | |
|-----------|----|-------|------|------------------|
| ・新規会員の純増数 | 5区 | 35クラブ | 183名 | (H29年度23クラブ153名) |
| ・新規加入クラブ数 | 1区 | 1クラブ | 38名 | (H29年度 該当なし) |

5 関係団体との連携強化

- (1) 仙台市、健康福祉事業団、シルバー人材センター並びに社会福祉協議会、地域包括支援センターとの連携協力
(2) 警察署、消防署、仙台市消費生活センターとの連携強化
(3) 平成31年新春交流会の開催

平成31年1月9日
パレスへいあん 参加者 62名

6 地域社会貢献、世代間交流活動の推進

高齢者が培った豊かな経験、知識、技術を生かすとともに若い世代の人たちと活動を共にし、相互の理解を深め合う世代間交流を推進

(1) 活動内容

<伝承活動、世代間交流>

七夕作り、しめ縄作り、昔遊び伝承、茶道教室、餅つき、そば打ち、カレー作り

<友愛・ボランティア活動>

声掛け安否確認、一人暮らし訪問、茶話会、福祉施設慰問交流

<環境美化、リサイクル>

花壇花植え、町内花プランター設置、公園清掃

(2) 実施件数

106件

(青葉区21件、宮城野区12件、若林区18件、太白区36件、泉区19件)

7 社会奉仕活動の推進

- (1) 「社会奉仕の日」 9月20日前後1週間を重点的に活動
(2) 通年活動の実施 (5区 41地区)

8 健康づくり活動の推進

- (1) 第10回グラウンド・ゴルフ大会

7月18日

シェルコムせんだい 参加総数 341名

(成績) <男子の部>

<女子の部>

優勝 奥田 孝男 (青葉区)

優勝 本郷 三重子 (太白区)

準優勝 坂爪 卓 (泉区)

準優勝 岸野 美智子 (若林区)

優秀賞 佐野 定男 (太白区)

優秀賞 野上 とき子 (太白区)

優良賞 平野 敏 (太白区)

優良賞 山形 邦子 (太白区)

敢闘賞 石田 利治 (泉区)

敢闘賞 熊坂 悠子 (宮城野区)

※最高齢選手 浦山 郁夫 (宮城野区)、田中 よし子 (若林区)

(2)第 38 回ゲートボール大会及び第 12 回ペタンク大会 9 月 7 日
 シェルコムせんだい 参加総数 238 名

<ゲートボール> コート 4 面 16 チーム 100 名参加
 (成績)優勝 下荒井ほのぼの会 (若林区) 準優勝 東八南部睦会 (若林区)
 優秀賞 南光クラブ (泉区) 優良賞 四ツ葉睦会 (若林区)
 ※最高齢選手 品川 栄作 (泉区)、小田嶋 すみ子 (宮城野区)

<ペタンク> コート 16 面 32 チーム 104 名参加
 (成績)優勝 将監南寿会 (泉区) 準優勝 MKスマイレ (若林区)
 優秀賞 中山長寿会 (青葉区) 優良賞 八乙女長寿会 (泉区)
 ※最高齢選手 武蔵 昭夫 (泉区)、榎 まさ江 (青葉区)

(3)第 54 回 仙老連体育祭の開催 10 月 13 日
 仙台市体育館 競技・演技 6 種目 参加総数 1,554 名

五区の老人クラブ会員代表が、「カメイアリーナ仙台」(仙台市体育館)に集い、スポーツ競技や集団演技を通して、高齢者の健康づくりと老人クラブ活動の理解を高める事業である。

今年は、開会時間を一時間遅くして、会員が集合しやすいようにした。

また、種目も減らし、区老連対抗の種目を増やし、会員に楽しんでもらえるようにもした。

区老連対抗として 4 種目の競技に点数を設け、優勝した区老連にはトロフィーの授与を行い、より一層の団結と盛り上がりを図れた。(優勝区老連 若林区)

(4)高齢者ウォーキングの実施 (通年) 215 回実施
 (青葉区 42 回、宮城野区 12 回、若林区 15 回、太白区 76 回、泉区 84 回)

(5)六和功普及会の育成
 六和功とは中国太極拳 24 式から長所を取り入れ六つの型に工夫した健康運動法である。

- ①六和功教室の開催 各地域、各地区老連への実技指導を展開し普及
- ②イベント参加 高齢者いきがい健康祭、仙老連体育祭

(6)体力測定事業の実施 (各区年 2 回、春・秋)
 各区市民センター(6 会場) 参加者延 670 名

高齢者が自分の体力レベルを知ることは、健康づくり、介護予防を推進するにあたり重要である。保健体育部員、シルバースポーツ推進員が中心となり、6 種目について体力測定を行う。筋力や全身持久力、バランス能力などを計測し、結果を今後の健康づくり介護予防に資する。

(7)第 34 回 シルバースポーツセミナーの開催 6 月 5 日～22 日

本事業は、高齢者が心と身体のリクリエーションを通して日常生活の健康づくりと介護予防のきっかけ作りを行う。市政だよりに掲載し、一般高齢者にも参加を呼びかけ地域住民相互の親睦と老人クラブ活動の充実を図る。

【なお、一般参加者からは参加費 100 円を徴収】

全市 9 会場 参加者 延べ 1,727 名

旭ヶ丘	木町通	落 合	宮城西	宮城野区中央
1 4 5	9 9	1 7 0	1 3 9	2 4 2
若林区中央	太白区中央午前	太白区中央午後	黒 松	
3 0 6	1 9 6	2 7 1	1 5 9	

- (8)第18期 シルバースポーツ推進員養成講座(全14回) 12月7日~1月31日
仙台市福祉プラザ、仙台市シルバーセンター 参加者27名
生きがい・健康づくりを推進するリーダーの養成、地域の中で高齢者の生きがい・健康づくり事業を展開し、高齢者の健康増進を図るために実施した。

<講師一覧>

- ・仙台大学名誉教授 本多 弘子氏
- ・東北大学大学院医工学研究科教授 永富 良一氏
- ・青葉区体育館館長 渡邊 克文氏
- ・宮城県グラウンド・ゴルフ協会会長 鈴木 陸男氏
- ・(公財)仙台市健康福祉事業団健康づくりスーパーバイザー 入江 徳子氏
- ・仙台市レクレーション協会 加藤 淳子氏、黒田 スミ子氏
- ・仙老連若手部部長 佐々木 忠雄
- ・ウォーキング専門店 歩楽人

- (9)体力測定フォローアップ研修会 2月26日
仙台市シルバーセンター 7F 第1研修室 参加者112名
体力測定の意義と健康寿命を支えるための日々の簡単な運動について研修する。

9 教養文化活動の推進

- (1)健康歌謡教室の開催(全7回) 9月21日~11月16日
仙台市台原老人福祉センター 受講者66名
老人クラブ会員の健康増進、友愛活動、地域活動の活性化を図るため事業の一環として開催する。

講師：歌謡曲 滝本 耕平氏

- (2)合唱団シルバースターズの育成 団員35名
<出演報告>

- ・青葉はつらつ明老祭、台原音楽祭に参加発表

- (3)脳の健康づくり研修会 1月22日
仙台市シルバーセンター1階 交流ホール 参加者252名

- ・講演：「生涯健康脳」

講師：東北大学加齢医学研究所教授 瀧 靖之氏

10 在宅福祉を支える活動の推進

- (1)高齢者相互支援活動委員、モデル地区老連合同打ち合せ(4月、12月) 2回
5区のモデル地区代表者と高齢者相互支援活動委員が1年目の事業推進に向け意見交換を行い、友愛訪問チームで声掛け等の活動の推進を図る。

- (2)高齢者相互支援活動リーダー研修会 2月15日
仙台市シルバーセンター1階 交流ホール 参加者147名

- ①「高齢者相互支援活動について」

仙老連事務局長 二本柳 基

- ② 講話 「地域における高齢者相互支援について~老人クラブへの期待~」

仙台市地域包括支援センター連絡協議会会長 折腹 実己子氏

- ③ 高齢者相互支援活動指定モデル地区の活動発表(1年目)

発表者：青葉区中山川平地区老連 桜井 昌子、宮城野区高砂地区老連 武山 紘
若林区荒町地区老連 佐藤 大治、太白区生出地区老連 佐藤 栄
泉区東一地区老連 佐藤 範昭

<主な活動内容>

- ・訪問（話し相手、声掛安否確認、家事援助、日常生活援助、外出援助） 延 1,647 回
- ・サロン開催 308 回

1 1 仙台市関連事業

- (1) 第 53 回仙台市社会福祉大会へ参加 9 月 5 日
仙台市長表彰（社会福祉団体） 仙台サンプラザホール

大会において、下記の皆様に、日頃の老人クラブ活動による社会貢献に対し、仙台市長より感謝状が授与されました。

青葉区	佐藤 光一	宮城野区	伊藤 範子
宮城野区	内海 運雄	宮城野区	武中 拓
若林区	小林 英子	若林区	庄司 博
若林区	中村 章	若林区	藤澤 日出夫
若林区	山本 明宏	若林区	吉田 用一
太白区	大栗 茂子	太白区	坂田 祐子
太白区	田中 重雄	泉 区	石沢 伊三郎
泉 区	佐藤 武二郎		

- (2) 仙台市、(公財)仙台市健康福祉事業団主催の行事へ参加協力

- ① 高齢者生きがい健康祭 9 月 16 日
勾当台公園市民広場 来場者 約 10,000 名

<ステージ発表>いきいきクラブ体操、演歌はいいね(青葉区)、
仙台音頭(泉区女性部)、団体演技披露(六和功)
<ブース> 青葉区 豚汁、産直野菜販売、コーヒーコーナー
女性部 手芸等作品の展示・販売、産直野菜販売

- ② 介護予防月間「元気アップフェスティバル」 11 月 11 日
仙台市シルバーセンター1F アトリウム 来場者 約 130 名

- ・写真パネル展示（仙老連の日常活動等を写真で紹介）
- ・実演・講習（輪投げ、グラウンド・ゴルフ）
- ・相談コーナー

- (3) 全国交通安全運動出発式・街頭キャンペーン、パレードへ参加
春、秋の 2 回 参加者延 200 名